

熊本大学生涯メールサービス稼働状況

杉谷 賢一 内布恵美 林恵里
総合情報基盤センター

[概要]

2006年9月から本学を卒業・修了した方を対象に、生涯利用できるメールアドレスの配布を始めました。サービス開始から2007年度までの運用状況を概説いたします。

1 熊本大学生涯メールサービスの概要

国立大学法人となった熊本大学は、卒業生の方々の御役に立てる大学となるための活動の一つとして、卒業生の方々と大学を直接結ぶメールアドレスを提供することにいたしました。

このメールアドレスを通して、大学からの最新の情報提供や諸活動への参加・参画のお勧め、eラーニング学習コンテンツの公開のお知らせ等を行っています。

本サービスは、皆様が普段お使いのメールアドレスを転送先とするメールアドレスを取得していただき、卒業生と大学の関係を密にしていけるためのものです。

本学が発行します生涯メールアドレスは、卒業生の皆さんが普段お使いのメールアドレスへ自動転送する機能を提供します。そのため、生涯メールアドレスを友人などにお知らせ下さっていただければ、プロバイダを変更されるなどして日常お使いのメールアドレスが変わった場合にも、メールアドレス変更の連絡をする必要がありません。

もちろん、本サービスを提供するメールサーバで、直接メールの送受信を行うことも可能ですので、送信サーバとして本メールサーバを指定していただければ、友人の方に対してプロバイダのメールアドレスの存在を非公開にすることができます。

- 研究センター等の新組織の設置
- 施設(建物)の完成
- 教職員の受賞
- 新聞等で報道された研究成果
- 大学行事
- 公開講座
- 学生の受賞、表彰、学外活動成果
- 卒業生からのメッセージ

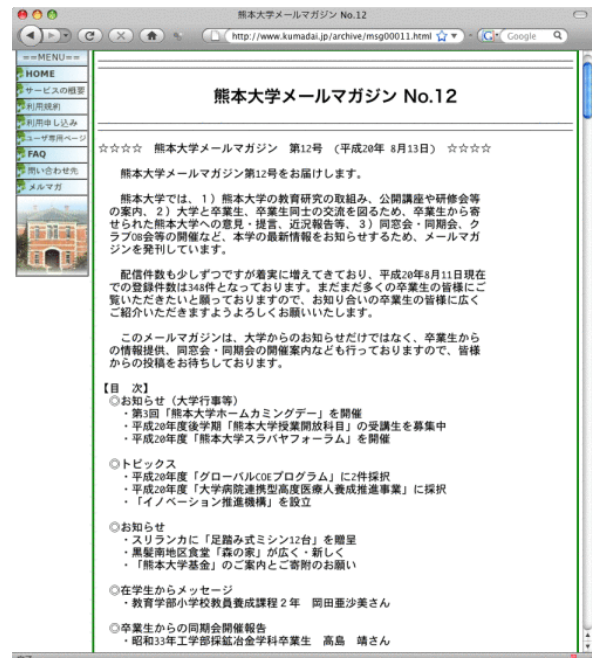


図1: メールマガのアーカイブページより

2 メールマガジン

本サービスの大きな柱であるメールマガジンは、サービス開始当初は総務部が担当していましたが、現在は同窓会連合会などを担当している企画部が担当し、本学の最新情報を利用者の皆様に配信しています。

配信内容としては、これまで次のような本学に関する項目でお送りしています。

発行を始めたころは、文字情報のみで表現するメールのフォーマットに関して、当センターの技術担当と担当事務との間で何度と無く議論いたしました。事務で通常作成される(必要に応じて図も含む)ワープロによる文書フォーマットとの違いを明らかにし、できるだけ軽いメールで、受信者の皆様に見やすく

なるよう改定を重ね、現在のフォーマットに落ちついています。

現在は、2ヶ月に1度という定期発行を行うために、本学での各種事業やできごとに常にアンテナを伸ばして、受信者の皆様にお役にたてるメルマガ作成に努力しております。

また、メルマガはアーカイブとして、生涯メールサービスのWebページにも掲載しておりますので、会員外の皆様も参照することができるようになっていきます。

3 登録件数

これまで生涯メールアドレスの申請があり登録した件数について、以下に示します。

まずは、修了・卒業年別登録件数を示します。

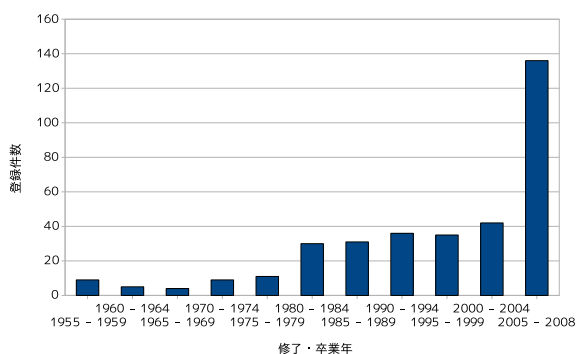


図 2: 修了・卒業年別登録件数

卒業時に全員にお知らせをした卒業後3年以内の方々が一番多い、という結果になっています。それ以前で、卒業後約30年位までは、5年刻みの登録数で見るとほぼ同じくらいの数になっていることがわかります。また、一番卒業年が古い方は1955年です。当時22歳だとすると、現在は既に70歳台の中盤にさしかかっているかもしれません。いまでも、母校のことを思ってください、本当にありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。

次に、修了専攻・卒業学部別の登録件数は下図のようになります。

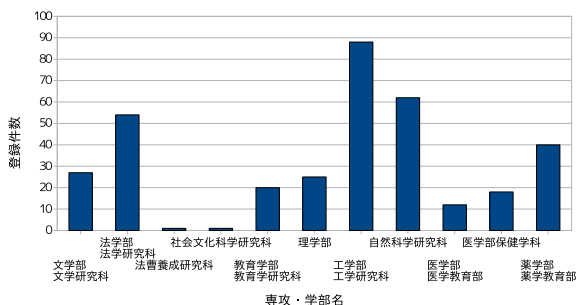


図 3: 修了専攻・卒業学部別登録件数

工学部や自然科学研究科が多いのは、学部の性格上また、卒業生の数からも当然だと思われそうですが、法学部系の卒業生の登録数が多いのは意外でした。また、学部規模の割には、薬学部の卒業生の皆様もたくさんご利用下さっています。

4 これまでに発生した障害の原因

各種サービスを運用していると、ときとして予想もしない障害が発生してしまいます。

これまで発生した生涯メールサービスにおいてメールの送受信ができなくなる障害の原因としては、以下のようなことがありました。

- ウィルス対策ソフトの自動バージョンアップによりメールサーバソフトとの連携がうまくいかなかった
- ネームサーバソフトの設定ファイルの不具合により、ネームサーバが異常動作を行った
- 停電からの復旧時に、メールサーバソフトがうまく起動できなかった
- 停電からの復旧時に、ネットワーク機器の障害で外部からの接続ができなくなってしまった

障害の際には、できるだけ早急に対応しているつもりですが、上記の障害のほとんどが、休日に発生しており、登録ユーザの皆様には長時間に渡りご迷惑をかけてしまいました。この場を借りてお詫び申し上げます。

5 今後の課題

既に登録を行ってくださった方からは、「熊大出身者としてのアイデンティティを示すことができありがたい」とか、「母校の近況を知ることができて懐かしい」などのありがたいお言葉を頂戴しています。

他方、「登録方法が複雑で面倒なので、簡略化して欲しい」というご要望もいただいています。これにつきまちは、登録をされる皆様のご負担にならないような登録手順を再度検討していく予定です。

まだまだ広報不足のために、卒業生全体の割りに登録者数が少ないのが現状です。今後は、色々なチャネルを利用して広報活動にも力をいれていくつもりです。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。